

令和7年度 小・中学校における環境教育の取組み

技術科・総合的な学習の時間（全学年）

テーマ【3年間継続した環境問題への取組み】

高石市立高南中学校

《学習のねらい》

- ・SDGsの取組みや技術分野における科学技術の学習から、環境や現在の主要エネルギーの発電や各種材料の再利用などについて学び、環境や社会に対する自身の取組みを考える。

《学習の流れ》

実施時期 ①1年生4月～随時 ②各学年各学期課題（レポート） ③2年生11月～2月

- ① 技術科において、地球環境の問題に触れ、身近に感じ取ることができる「地球温暖化」や「気象極端現象」の例を出しあい、協働的学習で深める。
 - ・技術科の技術分野の単元に関連の深い環境問題を取り上げ、掘り下げる。
 - ・第1学年における「わくわくドキドキSDGsジュニアプロジェクト」の取組みの中で、各企業の取組みを聞き、自身でできるSDGsの取組みを考え、協働的な学習の中でまとめ発表し、企業の方に、講評及び助言いただき、学習を深める。
- ② 各学年各学期課題として、1年生冬休み「間伐材の有効利用」、2年生夏休み「再生可能エネルギー」・冬休み「金属の再利用」「原子力発電所の廃炉」、3年生夏休み「最新の生物育成」についてのレポート（写真や絵などの画像資料・しくみ・メリット・デメリット・今後の改善点や調べ学習の感想）としてまとめ提出。
- ③ 温暖化や極端現象・環境問題に関する映像教材を導入として、エネルギー変換に関する実習教材「手回し発電ライト」に取り組み、製作教材の災害時の利用についても考える。

《指導のポイント》

- 身近な環境問題が未解決で継続した取組みが必要であることに気づくこと。
- 自身の生活が大きく環境問題に直結し、生活圏外にも影響が出ていることに気づくこと。
- 環境問題と災害対策をリンクさせ、一体として考えていく力をつけること。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

YouTube「SDGsってなんだろう（ベネッセ）」 Web「Edu Town SDGs（東京書籍・積水化学）」
TV 録画「ジョブチューン防災 SP（極端現象に対する災害対策）」「NHK スペシャル（スーパー台風）」
「未来世紀ジパング（クジラを殺したプラスチック）」

《生徒の感想》

- ・リサイクルをすることのメリットは環境にはとてもいいけれど、物やお金もかかっているデメリットにもなる。新しい技術を考えて、みんなで取り組むようにしていきたい。
- ・今自分は買い物にエコバックを持っていく等、小さなことを実行しているが、大人になって働くとき、その企業が環境問題についてどんな取り組みをしているか、調べて自分も大きな取り組みをしたいと思いました。
- ・マイクロプラスチックの海洋流出を減らす取り組みをしていますが、結局、焼却により二酸化炭素が排出されて地球温暖化に影響しているということもあるので、まずはプラスチック削減に力を入れることが課題だと思った。